



新潟市生涯学習センターボランティア

# 「Lの会」だより

つなげよう心と心  
～出会い・ふれあい・学びあい～

発行日 令和6年3月31日  
発行 ボランティア「Lの会」  
編集 広報部

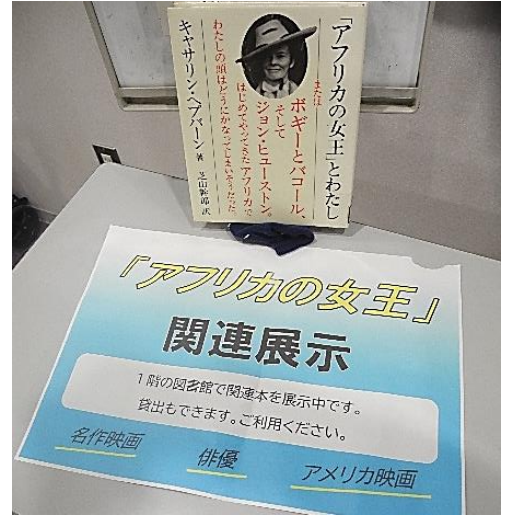
## 第24回 映画鑑賞会

### 「アフリカの女王」上映

令和5年12月3日(日)13時30分～15時15分に、1951年の名作映画の「アフリカの女王」をクロスパルにいがたで上映いたしました。

当日は時折、雷雨となる悪天候にもかかわらず、81名の方にご参加いただきました。アンケート結果をみると70代以上の方が全体の8割、さらに、リピーターの方が全体の7割を占めていることから、この「Lの会」の映画鑑賞会が多くのかたに心待ちにされ、また、ひとつの外出の機会ととらえられ愛されている事がわかりました。

生涯学習センター図書館にも、毎回、映画鑑賞会の映画関連書籍コーナーを作ってください有難く思います。その関連書籍のなかの「アフリカの女王」メイキング画像では白黒でしたが、今回上映した映像はカラーリメイクされた



映画関連書籍コーナー

ものでした。「昔見た印象と違うようだがとても良かった」との声を多くいただいたのは、リメイク版が関係しているのかもしれませんが。

上映時間が105分と長い映画でしたが、お一人も途中退席することなく名作映画を楽しんで頂けました。

(講座研修部)

## 「Lの会」とは

一人でできないことも、みんなでやればなんとかなると・・・

生涯学習センターを拠点にして、市民相互の交流を図る活動(映画鑑賞会・親子もの作り体験・ボランティア交流会参加・身近な話題の学習セミナー開催など)をしています。

<お問い合わせ>

新潟市生涯学習センター

TEL: 025-224-2088

FAX: 025-223-4572

## ダンボールアート作家 伊藤 正美さんからの のお便り紹介



写真はダンボールアートの例で、ハガキサイズのダンボールに、竜のイラストとメッセージがあり、下側に動く種の仕掛けがついている。

# ボランティアあれこれ

新潟市生涯学習センター「ボランティアバンク」の登録グループ

## 楽しい読み語りボランティア

にじいろこすもす 近藤 直美

絵本や紙芝居、一緒に歌を歌ったりと、赤ちゃんから、おじいちゃんおばあちゃんまで、楽しい時間を過ごしてもらいたいと8年ほど前に活動を始めました。

時には音楽付きの読み語りにも挑戦しました。効果音がついて、また違った面白さがあります。今は伴奏をしてくれていた娘が県外にお嫁に行ってしまう、伴奏者も募集中です。

私も親の介護やコロナなどで、活動をしばらく休止していましたが、昨年、知人の読み語り活動の誘いを受け、小学校や地域の茶の間でお手伝いを始めました。

また、スキルアップの必要性を感じ、新潟市図書館で行なっている「読み聞かせボランティア講座」を受講し、基礎から学ぶことができ、とっても勉強になり、楽しさも倍増しました。

「ボランティアバンク」には登録させて頂いたばかりの新米で、メンバーも3人ほどで少人数ですが、これからも、いろんな場所で、いろいろな事にチャレンジしながら、地域に笑顔と



読み語り活動の様子

楽しい時間をお届けしていきたいです。町内でもママさん同士の集まりでも、少人数の集まりでも大歓迎です。どうぞご活用頂ければ嬉しいです。一緒に楽しい時間を作っていく、新しい仲間も募集しております。

(連絡先 新潟市生涯学習センター

電話 025-224-2088)

## 私とボランティア ～ 小学生と将棋を楽しむ～

「Lの会」会員 石田 実

令和4年4月から、2年間日和山小学校将棋倶楽部のボランティアをしていました。月2回、本将棋を中心にガッタン将棋・ハサミ将棋など和気あいあい、時間いっぱい楽しみました。



クラブの生徒からお礼の手紙を、校長先生から感謝状をいただきました。そのお礼の手紙を原文の文章のまま紹介します。

「ボランティアのみなさま、いつもぼくたちのためにしょうぎを見てくれたり対戦してくださって、ありがとうございます。これからもがんばります。」



# 私とボランティア

+

～親の苦勞への感謝を周りの人へ少しずつお返りする～

「Lの会」会員 多胡 京子

歳をとると、昔のことが思い浮かびます。私の少女期のことです。盆暮れ等に父の兄弟が家族で集まり、老若男女三十数人がワサワサしていた思い出があります。大人は囲碁・将棋・マージャン、子供は百人一首・トランプ・花札と楽しい遊びばかりでした。お酒を飲み寝てしまった叔父に毛布をかけたり、赤子のいとこをあやしたり、そんなことが自然に身につく環境だった事がボランティアの入り口を簡単にした



のではないかとされます。

八人兄弟姉妹の長男で若くして苦勞した父と、そこに嫁ぎ黙ってついてきた母に感謝の毎日です。私にとってボランティアとは、受け取った恩のお返しなのです。本来のボランティアとは、ちょっと違うかもしれません。

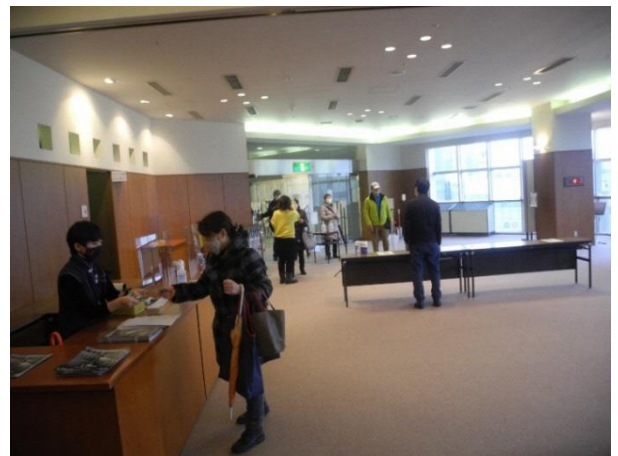
ボランティアと肩に力を入れなくても、例えば駅のホームを白杖の方が歩いている時、ちょっと声をかける事も立派なボランティアだと思います。老若男女、誰にでもボランティアは出来ると思います。

## ボランティア活動のすすめ

～ぐちを言う相手をみつけるつもりで～

新潟ジャズストリート実行委員会 理事 永井 美津子

結婚と同時に仕事を辞めて引っ越した。県内を移動しただけだったが、生活圏は大きく変わる。近所で気軽に会える飲み友だちでもできればな、くらいのつもりで、当時まだ上大川前の三好マンションにあった新潟市国際交流協会をのぞきに行ったのは、もう15年以上前の年末。「にいがた国際映画祭実行委員会」のボランティア募集をどこかで小耳にはさんだからだった。その頃の映画祭は2月に実施されていて、年末の時点では準備は大体終わっており、印刷物の配布やチケットの手売りなど、頭脳というよりは笑顔と根性が必要な方面の仕事が残されている状態。誰もが嫌がる飛び込み営業みたいなことが比較的平気だったので、気が付くともすごい数の印刷物を配り、チケットを売り、翌年には副実行委員長になっていた。



ジャズストリート会場受付風景

怒られ窮地に陥り……。それでも、ものすごく多くの経験を積ませてもらった。他の活動団体との協力をきっかけに自分の交友関係や行動範囲が広がる楽しみもあった。もし今全然別の場所に急に引っ越すことになったら、とりあえず何かできるボランティア団体を探せばどうにかかなりそうだな、という妙な自信もついた。  
(次ページへ続く)

(前ページから続く)

何だかんだ言ってそれはボランティア活動がどのと言うより、もともとあなたのコミュニケーション能力が高くて図々しいからでしょ、と言われてしまいそうだが、まったくそうではない。最初から瓦解していた家庭でどうにか生き延びて育ったおかげで、もっと若い頃は本当に人と接するのが苦手で、周囲の人を困惑させてばかりだったと思う。逆転の発想で、他人様が全員優しく見えて、泥水を被ることを恐れない態度が何をやるのも役に立っているだけだ。

世の中の変化にともない、長年運営してきた映画祭を昨年自らの手で終わらせ、すぐに今度は新潟ジャズストリート実行委員会に理事として迎えられた。他にも、劇団や月刊誌の編集など、面白そうなことは誘われるままに何でもやっている。「助けてもらいたいのはこっちの方。ボランティアなんて、時間とお金に余裕のある人が内輪でやっていること」と思っている人にこそ、一度近所の何かの団体をのぞいてみて欲しい。その場に集まる情報や知恵を利用しに来るくらいのつもりで全然いいと思う。愚痴をこぼす相手の一人でも見つけられたら御の字、くらいのつもりで。

## 「Lの会」からのお知らせ

「Lの会」活動に関心のある方は、クロスパルにいがた2階「ボランティアスタッフ控室」を是非のぞいてみてください。見学大歓迎です。

### ○定例会

全会員のなんでも交流広場です。  
第1水曜日 13:30～15:30

### ○まないた会議

映画観賞会、部内研修、他団体との交流などの計画、立案などを話しあっています。  
第4木曜日 10:00～12:00

## 活動実績

- 11月1日、「Lの会」だより 第54号発行。
- 12月8日、冬の映画鑑賞会で「アフリカの女王」上映、来場者81人。



## 編集後記

- ・クロスパルに生涯学習センターボランティア「クロサポ」が昨年4月に誕生。平成17年設立の「Lの会」と合わせ2つが活動しております。どちらの会もクロスパルを愛し、広く市民の皆さんの学びに役立ちたい！という心熱いグループです。「Lの会」は年会費1,000円。コーヒータイム付きの、アットホーム形で常時会員募集中です。(S.I)
- ・仕事を終了した年に、市主催の生涯学習ボランティア講座を受講し、「Lの会」に席を置き、自分流の生涯学習を続けて20年が過ぎた。弘法「大師様のおかげ」という言葉があるが、現在の自分があるのは「生涯学習」のおかげと思うことがある。(K.I)
- ・今回の55号には、皆さんからの寄稿に感謝申し上げます。いろいろな活躍状況には、頼もしく思いました。(T.O)
- ・新潟市生涯学習センターボランティアを19年間やってきて、「生涯学習活動」と「ボランティア活動」を結びつける力がまだまだ足りないなあ、とつくづく思うこの頃です。(M.I)